

## 新課程地理の「評価とテスト」

静岡県立沼津東高等学校 上野 忠行

### はじめに

新課程「地理A・B」が始まって、1年が経とうとしている。地理の学習内容が改訂されただけでなく、今までの「相対評価」から「絶対評価」となった。何を評価の基準にするのが重要で、そのためにはどのようなテスト、課題、ひいては年間を通しての授業計画等の検証がより求められる。新課程「地理A・B」目標・内容とともに、評価とテストを考察してみた。

### 新課程地理—系統地理と地誌の統合

地理の両輪といわれている系統地理と地誌の統合による現代社会（地理的事象や諸問題）の地理的認識（理解、見方や考え方）が地理学習の中心となった改訂である。

また、地理学習上、配慮すべき事項として、基本的な事項の精選・構成と作業的・体験的学習による地理的技能・情報処理能力の習得が力説され

ている。

### 地理的基礎学力の現状

ここで、高校生の地理的基礎学力を見てみよう。次は2年生9月の定期テストである。

陸水についての問い、

（ア）水は酒・ワインなどの（イ）用に利用されている。（ウ）県西宮市の（エ）水は灘の生一本として知られている。

正解率（イ）13% 平仮名・誤字9% 誤答78%

（ウ）20% 誤答80%

残念ながら、これが普通科理系2年生の地理基礎学力の一面である。ゆとりある教育の成果か、中学までの地理学習内容の削減・精選によるものか？ 高校の地理学習の基盤（インフラ）は極めて脆弱なようだ。生徒の基礎学習力（知識量・学習スピード学習意欲）は、10年前の生徒と比べ2～3割程度低下している。基礎学や知識量の低下だけでなく、受け身的な生徒、主体的に学習に取

り組めない生徒が増加している。それ故、現代世界の地理的事象を理解するうえでの基盤を早急に養成することが必要である。

日常生活圏・行動圏の地域性を題材に出題するのは容易ではないが、生徒が自分の目で直接確認できるフィールドを多面的・多角的に出題する

### 新課程「地理A・B」の評価

「相対評価」と異なり、「絶対評価」は何を基準に平均値5～6、満点10、不認定1～2とするかは、各学校・教科・科目の教育目標によって異なる。以下は、私の勤務校（普通科・理数科の地方進学校）における評価基準の、地理A・Bの要点である。

- ・年間を通して、テストで基本的な問題（教科書資料集などの基本・重要事項）を約2分の1とする。平均点50を目安とする。
- ・平均点の2分の1以下の者は、評価1候補である。
- ・評価1候補は、出席状況・授業への取り組み・小テスト（年10回）・レポート（年3回）など加味して評価1かどうかを決める。
- ・評価2～10は、今までの評価法によるが、レポートや小テストなども総合して評価する。
- ・レポート・小テスト等の比率は、評価全体の約2割程度とする。

以上のように、地理の基礎学力が低下している。学習内容における基礎・基本の重視とその定着度を測るテスト、および日々の学習活動・学習への取り組みの重要視と小テスト・レポート等を含めた総合評価を心掛けている。

地域（生活圏）を題材にして  
出題する効果

1. 地形図をよく見て、設問に答えよ。  
図は、静岡県沼津市から富士市にかけての地域であり、古くより東西交通の要所であった。「原」の集落は、江戸時代には東海道の（ア）町であり、大名の宿である本陣・番本陣があった。

「原」の集落は、（イ）形態をなし、海岸（ウ）の上に立地している。海岸線には、「千本松原」と呼ばれる（エ）樹林が連続し、防風林（オ）（カ）林をなしている。集落の背後に水田が広がっているが、西側にある沼原からも分かるように、かなりの湿地帯である。これは、山麓との間に挟まれたこの一帯が、かつては潟湖（キ）であり、それが干上がったものだ。山麓には、「江尾」から「東原」まで道路に沿って集落が連なり（ク）村形態をなしている。これは、山麓の（ケ）をもとに成立した集落だと考えられる。

問1 （ ）に漢語を記入せよ。

問2 図中の「根古陸」は中世後期の典型的な（ア）村で、近世城下町の先駆をなしたものである。「興雲寺城」を中心に武士・農民（開拓者）が集落を形成し、その外側に掘り割りを作っている。こういう掘り割りを持つ集落を（イ）集落と言い、その掘り割りは灌漑用水・（ウ）的機能を持つ。（ ）に漢語を記せ。

問3 中世成立の集落には、問2の（ア）村以外にどのようなものがあるか。その例（村）を3つ挙げよ。



問4 図は、江戸前期（元禄）に河越城主柳澤吉保が乏水台地の（ア）台地を開墾した三富新田である。

イ、新田集落の地名には、一一新田以外にどのようなものがあるか、例を一つ挙げよ。

ウ、こういう地割りを何というか。

エ、図中の樹林は、農業上・生活上重要であった。どういう役割があったか。（防風林以外で二つあげよ。）



ことは地理学習上また地域理解上、極めて重要で効果的である。「新課程の内容」にも明示されており、戦後地理教育において一貫して強調されてきたものである。

とくに、地形図を使っての地域の地理的事象の出題は、実際の景観と地形図のキャッチボール<景観の図形化と図形の景観化>、読図や作図、景観写真の読み取り等、地理的技術の養成にも効果的である。

前ページの問題は、11月に行った3年生実力テスト（集落）の一部である。

### 地理的スキルを測る大学入試問題

テストにおいては、系統的・地誌的に世界の地理的事象・課題の理解度を測るとともに、作図・作業などを通して養成した地理的スキルを測ることが重要である。たとえば

- ・地形図の読図－断面図・距離・面積・傾斜・方位・土地利用
- ・経緯線・対蹠点や時差・気候区の判定・気温の通減率
- ・人口密度や人口の自然（社会）増加・増加率・水の循環

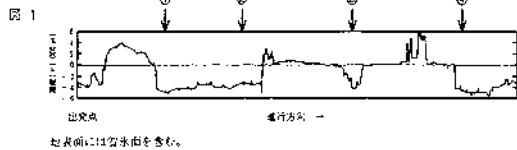
近年、大学入試問題でも地理的スキルを測る問題が数多く出題されている。

- ・国際航空交通で、ロンドンー東京間の現地到着時刻（2002年、センター追試験）
- ・東経80度と西経100度の経線上の地形断面図（2002年、センター本試験）
- ・エルニーニョ現象に関する読図（2001年センター追試験）
- ・人口・食料増加率と穀物輸出入の大陸別問題（2001年センター追試験）

とりわけ、上記の「2002年、センター本試験」

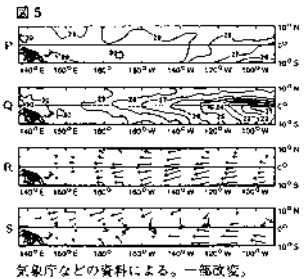
#### 2002年 センター試験（本試験B）

問1 次の図1は、北極点と南極点を通り、インド半島を通過する地球の大円（東経80度と西経100度の経線）上を、ある地点（図1の左端）を出発点として一周したときの地形断面図である。北から南へ向かって経道を通過する位置として正しいものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。



#### 2001年 センター試験（追試験B）

問5 エルニーニョ現象は、北アメリカにおけるトウモロコシや大豆などの生産にも影響することがある。右の図5中のPとQは太平洋の赤道付近における海水面温度(℃)の分布図で、RとSは河内海峡の海面付近における風向風速の分布図(矢印の方向と長さで風向と風速を表す)である。それぞれエルニーニョ現象が発生している場合と平年に近い場合の事例である。エルニーニョ現象の発生時に対応する海水面温度の分布図と風向風速の分布図の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



	①	②	③	④
海水面温度の分布図	P	P	Q	Q
風向風速の分布図	R	S	R	S

の問題は、経線上のおもな地形とその位置関係・地形断面図が描けないと判断できない良問で、受験生が最も苦手としている分野である。

これは好ましい傾向で、高校の地理教育の目標に合致している。環境問題、人種・民族・人口（人口増加・移動など）、都市問題、貿易や国家群に関する問題等、新課程「地理」の目標でもあり、高校生にぜひ理解してほしい“まさに現代社会の地理的事象”の出題が増えていることは歓迎すべきことである。また、単に地理用語や知識の理解度を問う問題ではなく、地理的事象を総合的に判断・理解し、地図・統計・写真などの地理情報を正確に読み取らなければ解答できない問題が増えており、これは新課程地理を学んだ生徒たちの地理的認識を測るためにはよい傾向といえる。高校での定期試験でもこのような問題で、彼らの地理的能力を問うべきだと思う。